

胸腺

胸腺 きょうせん

胸骨の裏に接し、心臓の前に位置する組織。造血と内分泌の双方に関係のある器官と考えられるが、個体の成長とともに萎縮し、構造もしだいに脂肪組織と置きかえられる。組織学的には小リンパ球を主とする皮質と、血管に富み大型のリンパ球や基質細胞・外膜細胞などを含む髄質とから成る。最大30～40グラムの重量。最近では、胸腺由来のリンパ球（T-c e l l）が免疫反応に関係があるとして注目されている。放射線照射によるDNAの損傷等を調べるために、動物の胸腺を照射実験に用いることがある。

<登録年月>

1998年02月
